

研究会委員の主な研究業績

(1996年4月1日から97年3月31日までに発表のもの, 5点以内)

服部 正治

- (書 評) C. Sugiyama 編 Lauderdale's Notes on Adam Smith's Wealth of Nations, 1996.
東京経大会誌 199 号, 96年10月。

林 倬史

- (論 文) IBM 社の技術開発分野とグローバル研究開発体制
『立教経済学研究』50巻2号, 96年10月。
(論 文) 東アジア諸国 (NIES) の技術開発力
『日本大学経済科学研究所紀要』24号, 97年3月。
(学会報告) 技術体系のパラダイム・シフトと技術の空洞化
産業学会全国大会 (九州大学) 96年6月。
(学会報告) Global R & D Systems of IBM Com.
Academy of International Business Annual Meeting (Banff, Canada)
Sep. 26-29, 1996.
(学会報告) 研究開発の国際的展開と多国籍企業
国際ビジネス研究学会 (横浜国立大学) 96年10月。

疋田 康行

- (論 文) Japanese companies' inroads into Indonesia under Japanese military domination
BIJDRAGEN TOT DE TAAL-, LAND-EN VOLKENKUNDE (Journal of the Royal
Institute of Linguistics and Anthropology), BKI 152-IV, LEIDEN, NEDERLANDS,
1996.
(共 著) 立教大学経済学部 情報処理教育マニュアル (案)
データベース利用の経済学・経営学系「一般情報処理」教育法の開発 (文部省科学研究費補助金 基盤研究 (B) (2) 中間報告) 97年2月。

岩崎 俊夫

- (論 文) 企業統計整備と調査統計の行方—「統計行政の新中・長期構想」が提起したもの—

『企業環境統計研究年報』（中小企業家同友会全国協議会・企業環境センター）第1号，96年7月。

（覚書）旧ソ連およびロシアの統計〔中江幸雄，佐藤智秋両氏との共同執筆〕『統計学』（経済統計学会）96年3月。

（資料）女性及び家族に関する統計データベース研究開発・報告書（国立婦人教育会館），〔労働：就労・労働力状態〕〔スポーツとレクレーション・文化〕の項執筆，97年3月。

（報告）パネルデータ編成の視点から見た中小企業・業況調査の意義と問題点〔特集：新しい情報技術と統計研究〔報告3〕〕（経済統計学会第40回全国総会〔於：北九州市 国際村交流センター〕）96年10月。

亀川 雅人

（著書）『日本型企業金融システム—日本的経営の深淵—』学文社，96年11月。

（著書）『企業財務の物語—ロビンソン・クルーザーの道案内—』中央経済社，96年9月。

（論文）株式相互持ち合い必然性と条件
『立教経済学研究』第50巻 第1号，96年7月。

菊地 進

（論文）ベイズ推定
『社会科学としての統計学・第3集』第3部第10章，経済統計学会，96年3月。

（論文）同友会景況調査の推移と位置
『企業環境研究年報』第1号，中小企業家同友会全国協議会，96年7月。

（資料）同友会景況調査（DOR）資料編 No. 1
『企業環境研究年報』第1号，中小企業家同友会全国協議会，96年7月。

（学会報告）同友会調査に基づく中小企業・景況統計のマイクロデータ解析
日本統計学会96年度大会（幕張メッセ），96年9月。

菊野 一雄

（共著）『新しい労働政策の創造』富士社会教育センター，96年7月。

（資料）障害者の就労を考える
『世界』（岩波書店），第625号，96年8月。

（共著・調査報告書）『新しい就労形態で働く個人の価値観』

新雇用・人材開発システム研究会, 96年9月。

熊谷 重勝

(共 著) 雇用不安と会計

大橋英五編『社会と会計』大月書店, 96年4月。

丸山 恵也

(論 文) ジャパナイゼーション—矛盾と破綻のプロセス—

『経済』, 96年4月。

(翻訳・監訳) CAW・TCA 編『リーン生産システムは労働を豊かにするか』

多賀出版, 96年7月。

(翻 訳) N. ギルバート編『フォーディズムとフレキシビリティ』

新評論, 96年9月。

(論 文) 日本企業のリストラとアジア戦略

日本経営学会編『日本企業再構築の基本問題』千倉書店, 96年9月。

松井 泰則

(共 著) 『新版国際会計基準』

同文館, 96年10月。

(翻訳共著) 『グリーン・アカウンティング』

白桃書房, 96年9月。

(論 文) US セグメント会計の展開

『企業会計』第48巻第4号, 96年4月。

(論 文) FAS・IAS セグメント基準比較研究

『立教経済学研究』第50巻第1号, 96年7月。

(論 文) 21世紀における非国籍企業会計時代への模索

『税経通信』第51巻14号, 96年11月。

中江 幸雄

(論 文) 比較経済体制分析の課題と方法—中国とロシア・中欧諸国の改革経験から—

『ロシアユーラシア経済調査資料』(ユーラシア研究所), 第768号, 96年5月。

(著 書) 『比較経済システム論—中ソ比較から21世紀を展望して—』

晃洋書房, 97年3月。

大橋 英五

- (著 書)『日本航空・全日空—日本のビッグ・ビジネス13—』
大月書店, 96年8月。
- (共編著)『社会と会計』(序章, 現代社会と会計)
大月書店, 96年4月。
- (論 文)現代社会と会計の課題『経済』No. 8, 96年5月。

老川 慶喜

- (著 書)『鉄道』(日本史小百科)
東京堂出版, 96年9月。
- (共編著)『神奈川の鉄道』
日本経済評論社, 96年10月。
- (共 著)『日本会社史研究総覧』経営史学会編「鉄道業の会社史」執筆
文真堂, 96年10月。
- (共 著)『道と川の近代』高村直助編「埼玉県の道路建設と道路行政」執筆
山川出版社, 96年10月。
- (共 著)『横浜の近代』横浜近代史研究会編「横浜倉庫の創業」執筆
日本経済評論社, 96年10月。

高浦 忠彦

- (共 著)『社会と会計』「第Ⅱ編第2章公共料金設定と会計」担当
大月書店, 96年4月。

和田 八束

- (論 文)住宅政策と財政
東京大学出版会『講座・現代居住』(第4巻), 96年10月。
- (論 文)租税特別措置改革の課題
中央経済社『税務弘報』, 96年10月。
- (論 文)日本財政の座標軸—現状と選択—
平和経済計画会議『平和経済』, 96年12月。
- (論 文)東京都財政の現状と福祉政策
東京都社会福祉協議会『福祉展望』No. 22, 96年12月。
- (論 文)97年度予算と財政改革
生活経済政策研究所『生活経済政策』No. 1, 97年2月。

有馬 賢治

(共 著) 『トータル・マーケティング』

総合法令, 96年6月。

(共 著) 『顧客満足の保証システムを目指して』

財団法人消費者教育支援センター, 96年6月。

石原 俊時

(著 書) 『市民社会と労働者文化』

木鐸社, 96年12月。

神前 樹利

(論 文) 食糧需給構造の変化とフードシステム

『公庫月報』第44巻第6号, 96年9月。

(論 文) 食糧需給構造の変貌と農政の展開

『立教経済学研究』第50巻第3号, 97年1月。

(論 文) 食料輸入大国の実像

東井・森岡編『現代経済を学ぶ』ミネルヴァ書房, 97年1月。

黒木 龍三

(共 著) 西川潤編

『エコノミストを知る事典』, ロビンソン, 森嶋通夫等, 紹介執筆。

日本実業出版社, 96年9月。

(研究会報告) 貨幣と時間—小野理論と C. A. アプローチを統合する試み—

ケインズ研究会, 明治大学大学院, 97年1月。

(研究会報告) 金融的景気循環

立教大学経済学研究会, 97年1月。

長島 忍

(共 著) 『シンセティック CAD』

培風館, 97年3月。

(共 著) 『デザインエンジニアリング総覧』

フジテクノシステム, 96年8月。

(学会報告) ネットワークを利用した図形教材呈示システム

日本図学会学術講演論文集, 96年5月。

名和 隆央

(論文) 日本型産業組織の効率性について

『立教経済学研究』第50巻1号, 96年7月。

菅沼 隆

(論文) 福祉政策

田代洋一他編『現代の経済政策』有斐閣, 96年6月。

(学会報告) 占領期の民生委員と地方軍政部

社会事業史研究会・愛知県, 96年5月。

(論文) 占領期の民生委員と地方軍政部

『社会事業史研究』, 96年10月。

金網 基志

(共著) 日本企業のグローバル・ネットワーク化—海外拠点の自律化と統合化—

横山正樹・涌井秀行編著『ポスト冷戦とアジア—アジアの開発主義と環境・平和—』

中央経済社, 96年12月。

(研究会報告) グローバル企業システムとネットワーク型組織—グローバル経営論のための—
分析視角—

企業経済研究会 (立教大学), 97年3月。

朴 泰珍

(論文) 日本の金融制度改革の再検討

『立教経済学研究』第50巻第4号, 97年3月。